

教科	保健体育	科目	保健	担当	
履修学年	2年	単位数	1	履修区分	普通科(必修)
教科書	現代高等保健体育(大修館)				
副教材等	現代高等保健体育ノート				

1 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 学習評価

評価の観点	当該科目の評価の観点の趣旨
a 知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけているか。
b 思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えているか。
c 主体的に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしているか。

※定期考査については、上記a、bの観点について学習内容に応じて適切に配分しています。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元(教材)の評価規準	評価方法	
					a	b	c			
前 期	4	生涯を通じる健康	1.ライフステージと健康 2.思春期と健康 3.性意識と性行動の選択 4.妊娠・出産と健康 5.避妊法と人工妊娠中絶		○	○	○	生涯を通じる健康に関する現状や課題を理解できるか 生涯を通じて健康について興味関心を持つことができるか 思春期、性行動、結婚、妊娠、出産家族計画等の健康問題が理解できるか	授業態度 ノート提出	
	授業観察									
	6				生涯を通じる健康	6.結婚生活と健康 7.中高年期と健康 8.働くことと健康 9.労働災害と健康 10.健康的な職業生活				○
前期末考査										
9	健康を支える環境づくり	1.大気汚染と健康 2.水質汚濁、土壌汚染と健康 3.環境と健康にかかわる対策 4.ごみの処理と上下水道の整備 5.食品の安全性 6.食品衛生にかかわる活動		○				○	○	社会生活と健康に関する現状や課題を理解できるか 生涯を通じて健康について興味関心を持つことができるか 様々な環境問題が理解できるか 食品衛生等に関わる健康問題が理解できるか
授業観察										
11				健康を支える環境づくり	7.保健サービスとその活用 8.医療サービスとその活用 9.医薬品の制度とその活用 10.さまざまな保健活動や社会的対策 11.健康に関する環境づくりと社会参加		○	○	○	
後期末考査										

4 評定の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a		60		60
b		20		20
c		20		20
計		100		100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- 健康に関する事は生涯を通じて興味関心を持たなければならないという意識を身につけさせる。
- 授業内容が理解しているかをチェックするため、定期的にノートを点検する
- 定期考査は各期末のみで範囲は各中間期から期末にかけてとする。

